

5 地域を創る

756億円 (対前年 +206億円)

- 地方都市暮らしなど移住のあり方の多様化に応じた移住・定住施策のさらなる強化が必要
- 和歌山が誇る豊かな自然の継承、文化遺産や景観の保存・保全と活用が必要
- 道路網の整備や空港・港湾の機能強化など、交通ネットワークのさらなる充実が必要

「ひと・もの」の流れを活性化させ、地域の魅力をさらに向上

<p>活力と魅力 あるまちづくり</p>	<p>141.9億円 (対前年+63.8億円)</p> <p>増 県立医科大学薬学部の整備 (+76.2億円)</p> <p>減 市街地再開発の完了 (▲10.5億円)</p> <p>減 南紀熊野ジオパークセンターの整備完了 (▲3.9億円)</p>	<ol style="list-style-type: none">1 移住・定住総合対策の強化 (P63)2 地域に適した交通体系の再構築の支援 (P64)3 未来につなげる文化財の次世代継承 (P70)4 日本遺産『絶景の宝庫 和歌の浦』を活用したまちづくり (P72)
<p>地域をつなぐ ネットワーク</p>	<p>614.3億円 (対前年+142.1億円)</p> <p>増 南紀白浜空港国際線ターミナルビルの整備 (+13.0億円)</p> <p>「防災・減災、国土強靱化」として 補正・当初予算：+182億円</p>	<ol style="list-style-type: none">5 経済活動の基盤となる道路ネットワークの整備 (P74)6 南紀白浜空港の国際線ターミナルの整備や大型クルーズ客船の誘致活動を推進 (P75)

5 地域を創る

◇新規・拡充

◇継続

・金額単位のないものは千円単位

・()内は昨年度当初予算額

活力と魅力のあるまちづくり

1. 個性豊かで暮らしやすい中山間地域づくり

重点事項

◇移住・定住総合対策 197,614 (176,766) P63

移住者の増加と過疎集落の再生・活性化を図るため、県外からの移住・定住を促進する総合的な対策を実施

◇地域生活交通確保支援 5,063 (-) P64

地域住民にとって不可欠な生活交通の確保を図るため、市町村が行う地域に適した交通体系の再構築を支援

◇未来を彩る花の郷づくり 4,584 (-) P65

地域の特性に応じた花木を植樹することにより、未来の観光資源となる花の名所を創造し、地域の活性化を図る

2. 賑わいのあるコンパクトな都市づくり

◇賑わいのある魅力的なまちづくり 104.6億円 (41.0億円) P66

賑わいと魅力あふれるまちづくりを推進するため、まちなか居住を誘導する市街地の再開発等を支援

◇地域生活交通確保支援 【再掲】5,063 (-) P64

地域住民にとって不可欠な生活交通の確保を図るため、市町村が行う地域に適した交通体系の再構築を支援

◇空き家等対策の促進 18,240 (21,842) P67

物件の状態に応じた空き家対策を促進するとともに、衛生・景観等、地域住民の生活に影響を及ぼす未利用建築物の除却を支援

◇歩道整備の加速化【再掲】

25.7億円(⊕補正4.1億円) (25.1億円)

歩行者の安全な通行を確保するため、利用状況や周辺環境に応じた整備手法を用いて、通学路など生活道路の歩道整備を加速化

3. 和歌山が誇る豊かな自然の継承

◇ユネスコ世界ジオパーク認定に向けた取組の推進【再掲】

74,386 (461,450) P68

「南紀熊野ジオパーク」のユネスコ世界ジオパーク認定に向け、センターを拠点とした研究・教育活動や地元事業者等と連携した地域活性化の取組を推進

◇県立自然公園への誘客促進【再掲】35,295 (15,808) P69

県立自然公園への誘客を促進するため、統一の案内板や歩道・防護柵などを整備するとともに、SNS等を活用して魅力を発信

◇外来生物対策の推進 9,411 (9,026)

地域の自然環境や県民生活に大きな影響を与える外来生物に対して、被害のまん延を防止するための防除対策や啓発を強化

4. 和歌山が誇る文化遺産や景観の保存・保全と活用

◇未来につなげる文化財次世代継承 19,188 (30,288) P70

歴史的価値のある文化財を次世代に継承していくため、新たに管理状況等を調査しデータベース化するとともに、保存に向けて所有者支援等を推進

◇仏像盗難対策「守る」プロジェクト 1,980 (-) P71

地域の宝である仏像を盗難被害から守るため、防犯装置設置やお身代わり仏像の作成を進め、盗難に遭っても早期発見を可能にする体制を整備

◇日本遺産『絶景の宝庫 和歌の浦』を活用したまちづくりの促進

256,250(⊕補正50,500) (-) P72

日本遺産「絶景の宝庫 和歌の浦」の価値を高めるため、和歌公園「観海閣」の復元的整備や無電柱化を行い、官民協働による歴史まちづくりを促進

5 地域を創る

◇新規・拡充
◇継続

・金額単位のないものは千円単位
・()内は昨年度当初予算額

5.交流人口等の増加による地域の活性化

◇日本トルコ友好130周年記念シンポジウム 8,997 (-) P73

オスマン帝国の軍艦「エルトゥールル号」の日本訪問と遭難事故を発端とする日本とトルコの長年の友好関係をさらに深める機会を創出

地域をつなぐネットワーク

重点事項

1.交通ネットワークのさらなる充実

◇道路ネットワークの整備

433.3億円(Ⓢ補正38.3億円) (324.7億円) P74

企業立地や産業振興、活力ある地域づくりなど将来のチャンスを保障するものとして、また、大規模災害への備えとして、高速道路や県内幹線道路等の早期整備を推進

- ・万博を見据えた高速道路ネットワーク等の早期整備
- ・県内外の一体的発展に寄与する幹線道路の整備推進
- ・都市内道路及び基本的な生活に不可欠な道路の整備推進
- ・構想路線の具体化
- ・緊急輸送道路等の通行確保
- ・橋梁等の老朽化対策

◇自転車通行空間の確保

260,450 (Ⓢ補正131,300) (252,000)

自転車道の専用化、直線化などサイクリングロードの整備を推進するとともに、“まちなか”における自転車、歩行者の分離された通行空間を確保

◇空港・港湾を活用した誘客促進

14.1億円(Ⓢ補正0.3億円) (1.5億円) P75

南紀白浜空港の機能強化や大型クルーズ客船寄港増に向けた支援制度の創設等により、空港・港湾を活用した誘客をさらに促進

移住・定住総合対策

令和2年度：197,614千円
(176,766千円)

現状・課題

- 著しい人口減少や少子高齢化の進行で、過疎地域の集落機能が急速に低下
- 過疎地域だけでなく地方都市暮らしなど多様な移住ニーズに応じた施策の強化が必要
移住相談者の75%が地方都市（市街地）への移住を希望し、70%が就労の場があることを移住先の条件として選択
(2018ふるさと回帰支援センターアンケート結果)



県内都市部への移住促進

わかやまキャリアチェンジ応援プロジェクト

東京相談窓口にはキャリアアドバイザーを配置
相談者の特性に応じた仕事の紹介・就職をサポート

「しごと」のある「暮らし」体験（お試し移住）

先輩移住者が経営するゲストハウス等に滞在
仕事と暮らしの体験を県内全域で実施

先輩移住者集団「わかやまナビゲーターズ」

快適な「わかやま暮らし」のための仲間づくりをサポート

過疎地域等の担い手確保

移住定住推進住宅整備

遊休施設や空き家を活用し移住者向けに単身用シェアハウスや世帯用住宅を整備する市町村を支援

寄合会の活動拠点整備

寄合会活動の中心となる場所の整備を支援

地域おこし協力隊等の活用

寄合会のアドバイザーとして地域おこし協力隊OB等を活用

地域の担い手の確保支援（特定地域づくり事業協同組合）

地域の仕事を組み合わせて年間を通じた仕事を創出し、人手が必要な事業者に適宜職員を派遣する組合の設立を支援

しごと・暮らし

- わかやまキャリアチェンジ応援プロジェクト **新規**
- 「しごと」のある「暮らし」体験（お試し移住） **拡充**
- 先輩移住者集団「わかやまナビゲーターズ」 **新規**
- 個別現地訪問支援
- 公募型移住者選抜
- 移住者の起業・継業支援、農林水産就業への支援
- ホームページや相談窓口による移住希望者への情報発信
- SNS等を活用した移住者等の地域情報発信力強化

すまい

- 移住定住推進住宅整備 **新規**
- 県統一版「空き家バンク」による空き家情報の提供
- 空き家の家財道具撤去費の助成
- 空き家改修の補助

集落維持

- 過疎集落再生・活性化支援
 - ・寄合会の活動支援
 - ・寄合会の活動拠点整備 **新規**
 - ・地域おこし協力隊等の活用 **拡充**
- 地域の担い手の確保支援 **新規**
(特定地域づくり事業協同組合)

地域生活交通確保支援

令和2年度：5,063千円 **新規**

現状・課題

- 地域住民にとって不可欠な生活交通や、自家用車を運転できない移動困難者の地域に適した移動手段の確保が必要

地域交通の課題抽出 (R1~R2年度初旬)

- ◆ 県内バス路線について、市町村や交通事業者と共に利用実態・地域の取組状況等を調査し、課題を抽出

課題に対する解決策検討 (R2~R3年度)

- ◆ 市町村が対応方針を立て、必要に応じて**支援アドバイザーの助言**を受けながら、抽出された課題に対する解決策を検討

<解決策の例>

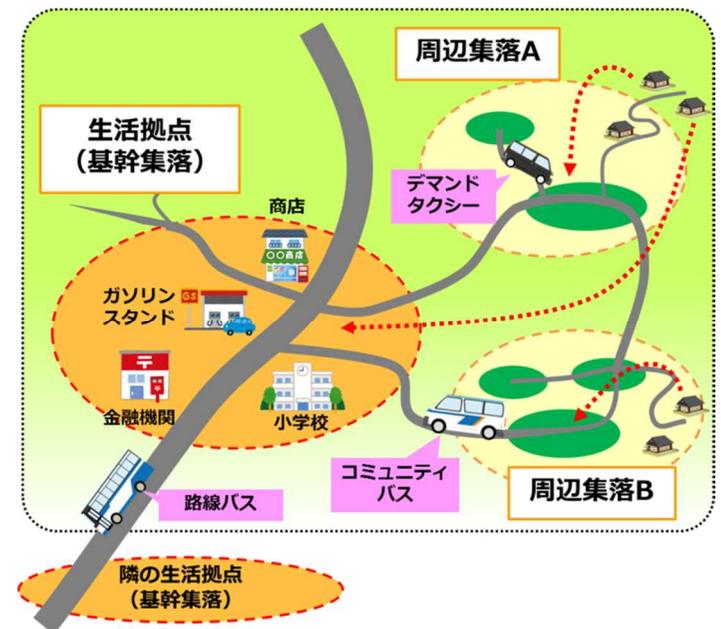
- ・利用者の少ない定時定路線のコミュニティバスをデマンド型の乗合タクシーに転換
- ・路線バスの運行ルートを見直し、一部区間を統合又はコミュニティバス化

市町村による実施計画策定 (R2~R4年度)

- ◆ 市町村が解決策を盛り込んだ実施計画を策定
- ◆ 計画に基づくデマンド交通等の**正式運行に向けた調査や実証運行を支援**

解決策の実施 (R4~R5年度)

- ◆ 市町村が調査・実証運行を経て正式運行を開始
- ◆ 実施結果について取りまとめて公表し、他市町村への取組を促す



未来を彩る花の郷づくり

令和2年度：4,584千円 **新規**

市町村や団体が行う花の名所づくりを支援し、地域への愛着の醸成や地域活性化を図る

(補助率：10/10、補助上限額：200万円)

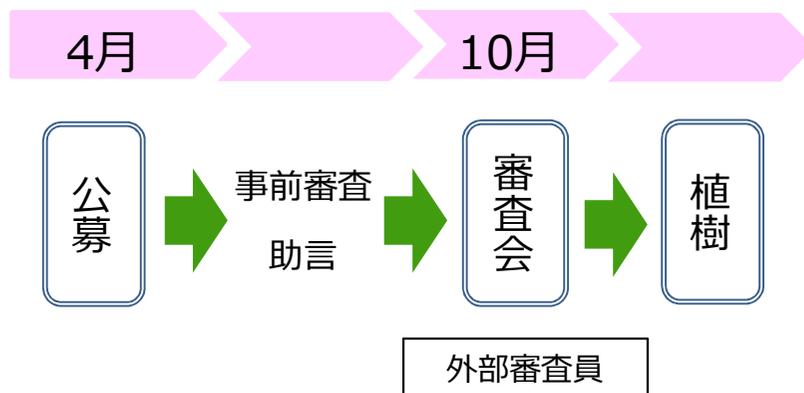
整備支援

補助対象経費：植樹経費、景観環境整備経費

推進支援

補助対象経費：植樹イベント等地域住民との輪を広げる経費

スケジュール（予定）



クマノザクラ



賑わいのある魅力的なまちづくり

令和2年度：104.6億円
(41.0億円)

まちなか居住を誘導する市街地再開発

◆市街地再開発を支援

1 和歌山市駅前地区

市民図書館・商業・ホテル等を整備

2020年 4月下旬開業予定

施設名称：キーノ和歌山



赤字：市街地再開発事業により整備



再開発が進む
和歌山市駅前

2 友田町四丁目地区

(和歌山駅周辺)

病院・商業・住宅等を整備

2020年 春開業予定



3 北汀丁地区

(和歌山城周辺)

住宅・老人ホーム・
美容専門学校等を整備

2020年 夏開業予定



大学のまちなか回帰

◆和歌山市中心部に専門職を養成する大学を誘致

1 東京医療保健大学和歌山看護学部

1学年90人 4年制360人 (2018年4月開設)

2 和歌山信愛大学教育学部

1学年80人 4年制320人 (2019年4月開設)

3 宝塚医療大学和歌山保健医療学部

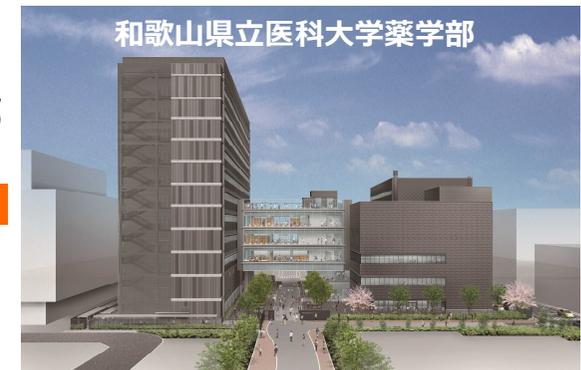
1学年100人 4年制400人 2020年4月開設予定

4 和歌山県立医科大学薬学部

1学年100人 6年制600人

2021年4月開設予定

2026年に学生数は
合計1,680人



和歌山県立医科大学薬学部

空き家等対策の促進

令和2年度：18,240千円
(21,842千円)

現状・課題

本県の空き家数：98,400戸

空き家率：20.3% (全国第2位)

1 空き家対策の促進

各分野の専門家と連携した相談体制を充実

①中古住宅の流通 ▶「どんどん使う」

インスペクション（建物状況調査）の普及・啓発

②空き家適正管理 ▶「そのままキープ」

空き家所有者への適正管理に関する啓発活動

③管理不十分な空き家の除却・修繕 ▶「新しく使う」

特定空家等判断基準により市町村が対策を推進



空き家なんでも相談会を
県内各地で開催
年間40回程度実施

2 未利用建築物の除却・跡地活用

一定規模以上の未利用建築物の除却を支援

幹線道路沿道等に
廃ドライブインや廃旅館が
散見され、放置されると
周辺に悪影響

未利用建築物

(対象要件)

- ・ 3年以上未利用状態の非住宅
- ・ 延べ床及び敷地面積500㎡以上
- ・ 文化財、ジオサイト、サイクリングルート
沿い 等

除却

所有者負担 1 / 5
(市町村1/5 県1/5 国2/5)

地域活性化のために
10年以上利用

- ・ 防災広場
- ・ 交流施設 など

ユネスコ世界ジオパーク認定に向けた取組の推進

令和2年度：74,386千円
(461,450千円)

現状・課題

- 地質的価値を裏付ける研究や教育・普及が必要
- 「ジオパークによる地域活性化」を図るため、地場産業の振興や新ビジネスの創出につながる民間事業者との連携が必要

研究・教育活動の強化

① 研究助成

地質学、地球物理学などの分野で国際的に評価が期待される研究に対し経費を助成

② 教育活動推進

大地の成り立ちや歴史文化等を分かりやすく説明できるテキストを、県内すべての中学1年生に配布し、授業等で活用

地域活性化

ジオパークに関連する商品開発など地域活性化につながる事業
の魅力発信

*土産、グッズ、体験メニュー、
ジオパークの魅力を高める活動等

誘客の促進

南紀熊野ジオパークセンターを拠点とした串本町内周遊バスなど、
誘客を促進するための施策を推進



南紀熊野ジオパークセンター

【南紀熊野ジオパーク】

新宮市、白浜町、上富田町、
すさみ町、那智勝浦町、太地町、
古座川町、北山村、串本町及び
奈良県十津川村の一部のエリア



南紀熊野ジオパーク

県立自然公園への誘客促進

令和2年度：35,295千円
(15,808千円)

現状・課題

- 案内板や歩道等の整備が十分でなく、安全・安心に利用できない
- 県立自然公園の魅力発信が十分でなく、利用者数が伸び悩んでいる
【利用者数：2,516万人（2015）→ 2,532万人（2018）】

1 観光客の受入環境の整備

- 登山口・景勝地・分岐点等に**分かりやすい案内板を整備**
(QRコードによる周辺情報の提供) **新規**
- 誰もが安全に楽しむことができるよう**歩道や防護柵等を整備**



子供からお年寄りまで安心して楽しめるコースを整備

2 県立自然公園のイメージアップ **新規**

- ビューポイント、周遊コース等を**ウェブサイト**で**魅力発信**
- 季節ごとのおすすめスポットなどを**SNS**で**魅力発信**
(Facebook、Instagram)
- “きいちゃん”をあしらったPRロゴマークを制作・活用

The composite image illustrates the project's components. On the right is a map of the prefecture with labels for various natural parks: 龍門山県立自然公園, 高野山町石道玉川峡県立自然公園, 西有田県立自然公園, 生石高原県立自然公園, 白崎海岸県立自然公園, 城ヶ森鋭尖県立自然公園, 果無山脈県立自然公園, 煙樹海岸県立自然公園, 白見山和田川峡県立自然公園, 大塔日置川県立自然公園, and 古座川県立自然公園. On the left, a person is shown scanning a QR code on a smartphone. Below that, a smartphone screen displays a '自然公園周遊コース' (Natural Park Loop Course) map with various points of interest like 'スタートゴール', 'トイレ(WC)', '登山口', and '展望台'. The map also includes a '所要時間 約3時間' (Estimated time 3 hours) and a '所要時間 約1時間' (Estimated time 1 hour) section. A small inset image shows a waterfall.

未来につなげる文化財次世代継承

令和2年度：19,188千円
(30,288千円)

現状・課題

- 少子高齢化等による文化財の担い手不足を背景に、豊かな伝統や文化が消滅の危機
- これまで数多く受け継がれてきた貴重な文化財を、次世代に確実に継承する必要
(国宝・重要文化財都道府県別指定件数 全国7位 [令和2年1月1日現在]、都道府県指定文化財件数 全国12位 [令和元年5月1日現在])

文化財総合データベースの整備 新規

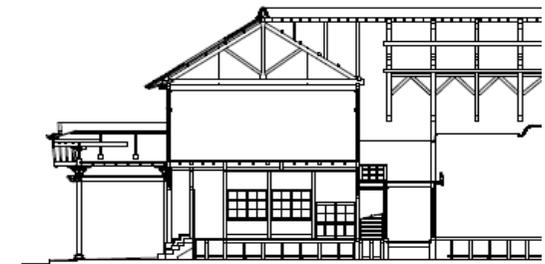
現地調査により保存上の課題や問題点を把握し、図面や写真を含む文化財の情報をデータベースに統合・集積することで、文化財が損傷した際の迅速な復旧や防犯対策に活用

○現地調査

- ◆ 建造物の防火設備を含めた管理状況の把握
- ◆ 仏像の計測、写真撮影

○建造物等のカルテ作成

- ◆ 図面、写真をデータ化し保存
- ◆ 図面のない建造物の図面作成
- ◆ 文化財の来歴の整理



重要文化財旧和歌山県会議事堂断面図

歴史的価値のある建造物等の調査・保存、所有者支援

○歴史的建造物[※]の調査・保存

- ◆ データベースを作成
- ◆ 何でも相談室を設置し、歴史的建造物の所有者からの維持管理等の相談に対応

○所有者及び市町村に対する支援

- ◆ 国登録有形文化財（建造物）修理に補助（上限100万円）
- ◆ 重要文化財クラスで、所有者が維持困難になった物件を市町村が公有化する費用の一部を補助

○近代の文化遺産の調査・保存

- ◆ 近代の産業遺産、土木遺産等の所在調査・詳細調査を実施

※ 歴史的建造物：概ね建築後50年を経過し、指定文化財・国登録有形文化財になる価値がある建造物

仏像盗難対策「守る」プロジェクト (未来につなげる文化財次世代継承)

令和2年度：1,980千円 **新規**

現状・課題

- 少子高齢化や過疎化の進展により、地域で仏像を維持管理していくことが困難（盗難被害の発覚自体が遅れる）
- 集計を取り始めた平成20年以降、把握できているだけで県内で指定・未指定文化財を含め、280件以上の仏像の盗難被害

盗難に遭わない！（盗難防止対策強化）

- 仏像の管理者に対して、**防犯装置の設置を支援**するとともに、**県立博物館でのお身代わり仏像作成事業***を促進

※お身代わり仏像作成事業：

歴史的価値の高い神像や仏像を、3Dプリンターを用いて精巧に再現し、本物は防犯対策などの充実した博物館で保管、お身代わりをレプリカ像として元の寺社に安置



〈お身代わり仏像作成の様子〉

盗難に遭っても迅速に取戻す！（体制整備による抑止効果）

- 盗難品の早期発見を可能にする体制を整備



日本遺産『絶景の宝庫 和歌の浦』を活用したまちづくりの促進

令和2年度 : 256,250千円
令和元年度補正 : 50,500千円

和歌の浦地区における歴史まちづくり

和歌公園「観海閣」の復元的整備 (県) **新規**

老朽化が進行している「観海閣」を木造等で復元的整備

(令和2～4年度)



大正頃の観海閣
(和歌の浦学術調査報告書より)

和歌祭巡行経路等の無電柱化 (県・市) **新規**

和歌祭の巡行経路や紀州東照宮の周辺道路における
無電柱化
(令和2～4年度)

(市) 歴史まちづくりを推進

「歴史的風致維持向上計画」の重点区域として、歴史まちづくりを実施

- 情報発信を行うガイダンス施設の整備
- 歴史・文化が感じられる公園・遊歩道等の整備



ガイダンス施設イメージ

(民間団体) 和歌祭400年祭

和歌祭は、紀州東照宮創建の翌年、元和8年(1622年)に始められた例大祭で、現在も和歌祭保存会が、主催し、令和4年(2022年)に400周年を迎える。



和歌祭(神輿おろし)



(妹背山の夕景)

日本遺産『絶景の宝庫 和歌の浦』の魅力向上

日本トルコ友好130周年記念シンポジウム

令和2年度：8,997千円 **新規**

シンポジウムの概要

1. 開催時期：2020年秋頃
2. 開催場所：東京都内
3. プログラム：
 - 第1部 記念コンサート
 - 第2部 基調講演、パネルディスカッション
4. 参加者数：1,000人程度

同時開催

和歌山県：観光・物産展
県が有する観光資源等の魅力を発信、旅行動機を惹起

トルコ：観光PRブース、エルトゥールル号遺品展
トルコは観光PRブースを出して、日本からトルコへの誘客を促進

日本トルコ友好130周年事業

日本とトルコとの友好の礎となったエルトゥールル号の殉難将士を追悼するとともに、これからも続く両国の友好を願って、串本町において記念事業を開催

軍艦「エルトゥールル号」遭難事故

1890年（明治23年）9月16日、オスマン帝国の軍艦「エルトゥールル号」が串本町沖で座礁して沈没し、犠牲者587名を出したが、地元住民の懸命な救助により69名が救出された

この「エルトゥールル号」の日本訪問と遭難事故は、トルコで永く語り継がれ、日本とトルコの友好関係の原点とされており、後のイラン・イラク戦争の際、イランに取り残された日本人のトルコ救援機による救出につながっている



エルトゥールル号殉難将士遭難慰霊碑



エルトゥールル号

道路ネットワークの整備

令和2年度 : 433.3億円
 令和元年度補正 : 38.3億円
 (324.7億円)

企業立地や産業振興、活力ある地域づくりなど**将来のチャンス**を保障するものとして、
 また、**大規模災害への備え**として、**高速道路や県内幹線道路等の早期整備を推進**

1 地域をつなぐ道路網の整備

① 万博を見据えた高速道路ネットワーク等の早期整備

- ▶ すさみ串本道路、串本太地道路、新宮道路、新宮紀宝道路
- ▶ 有田IC～南紀田辺IC間の4車線化
- ▶ 国道42号冷水拡幅、有田海南道路、田辺西バイパス など

② 県内外の一体的発展に寄与する幹線道路の整備推進

- ▶ 国道168号五條新宮道路（相賀高田工区）
- ▶ 国道370号（美里2バイパス、美里4工区）
- ▶ 南港山東線（西浜3丁目～関戸1丁目） など

③ 都市内道路及び基本的な生活に不可欠な道路の整備推進

- ▶ 文里湾横断道路、千穂王子ヶ浜線、松島本渡線、黒江線 など

④ 構想路線の具体化

- ▶ 京奈和自動車道の第二阪和国道への延伸、（仮称）京奈和関空連絡道路

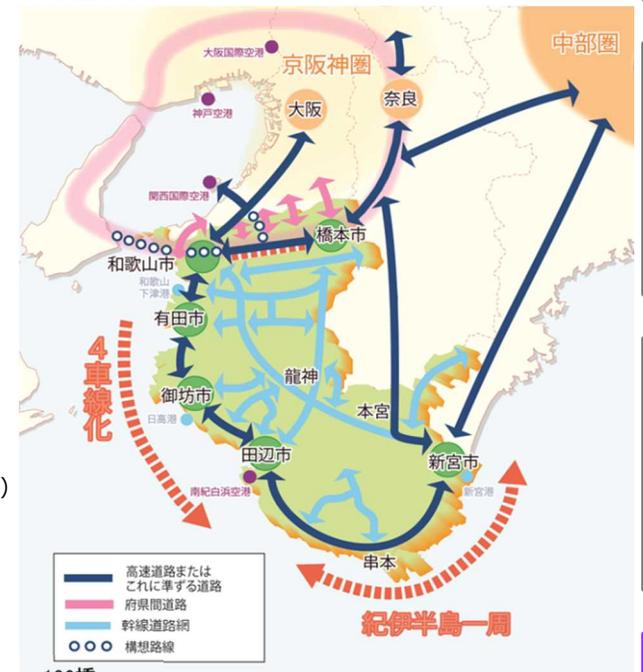


有田IC～南紀田辺IC間4車線化



南港山東線（西浜3丁目～関戸1丁目）

「ひと」・「もの」の流れを活性化する
 交通ネットワーク



2 災害に備えた道路網の強靱化

① 緊急輸送道路等の通行確保

- ▶ 地震・風水害等の災害時に備えた橋梁耐震化や法面強化

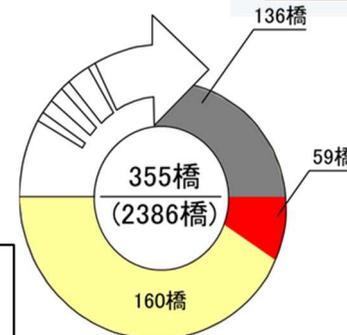
② 橋梁等の老朽化対策

- ▶ 定期点検に基づく機能維持のための老朽化対策

【橋梁の老朽化対策】

上段：要修繕数
 下段：県管理総数

■ 完了
 ■ 2020対策
 ■ 2021～2026予定



日置川すさみ線 潮来橋（白浜町）

空港・港湾を活用した誘客促進

令和2年度 : 14.1億円
令和元年度補正 : 0.3億円
(1.5億円)

1 南紀白浜空港の利用促進

① 南紀白浜⇔東京（羽田）利用促進

- 南紀白浜空港サポーターズクラブの入会促進
キャンペーン等の情報の配信と特典の付与
- 首都圏等での需要拡大
首都圏向けの広報、乗継利用キャンペーン など

② 国際線受入機能の強化

- 国際線ターミナルビルの整備（2021年竣工予定）

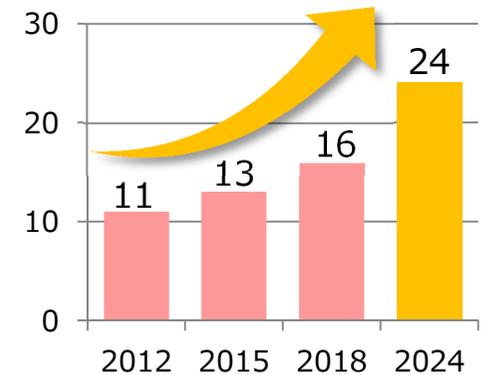
③ 航空ネットワークの拡充

- 新規路線就航・チャーター便誘致



<国際線ターミナルビル>

南紀白浜空港利用実績と目標（万人）



2 クルーズ客船の寄港促進

拡充

① 競争力の確保

- クルーズ客船の**入港料及び岸壁使用料の全額免除**
- クルーズ客船(5万t以上)を対象とした**助成金制度の創設**
⇒日高港50万円・新宮港100万円を助成

② 魅力向上・誘致活動の強化

- 受入体制強化（客船受入協議会の活用・港湾整備）
- 海外見本市への参加 ○海外船社の招へい



MSCベリッシマ(171,598t)
全長316m 旅客定員5,686人
令和2年10月寄港予定

クルーズ船寄港実績と目標（隻数）

